

超低汚染2液水性フッ素樹脂系塗料

アレスアクアセラフッソⅡ 上塗

系 統 超低汚染2液水性フッ素樹脂系塗料

適用規格 —

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 1) 耐汚染性が非常に優れています。
- 2) 耐候性が非常に優れています。
- 3) 弾性追従性に優れており、JIS A 6021 主材の上塗りとして適用可能です。(つや有りのみ)
- 4) 水性で臭気も少なく、はけ塗り・ローラー塗り・エアレス塗り、いずれの塗装も可能です。
- 5) 内外部に幅広く適用できます。

塗装条件

塗装方法	は け	ローラー	エアレス スプレー		
希 積 率	0～5%	0～5%	10～20%		
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.12～0.17	0.12～0.17	0.17～0.20		
希 積 剤	上 水				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目	温 度		23℃	
	最 短	最 長	4 時間	7 日
標準塗装間隔				
使 用 時 限			5 時間	

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	15kgセット ベース: 14kg 硬化剤: 1 kg
2 混 合 比	ベース / 硬化剤 = 14 / 1
3 色	白及び各色
4 つ や	つや有り、7分つや、5分つや、3分つや
5 仕 上 ぎ 感	平 滑
6 塗 料 比 重	1.20(白)
7 溶 剤 比 重	0.99(白)
8 加 熱 残 分	56%(白)
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	—
11 有 機 則 / 特 化 則	ベース: — 硬化剤: —
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	ベース: 非危険物 硬化剤: 第4類 第2石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

主な適用素材

コンクリート、モルタル、スレート板

主な適用下塗塗料

アレスダイナミック防水フィラー、アレスダイナミックフィラー、アレスダイナミックプラサフ、アレス弾性ホルダー防水形、アレスシリコンクラフト、アレスホルダーHG、エコカチオンシーラー、リベルマイスター21、リベルマイスター等

主な適用中塗塗料

アレスアクアセラフッソ中塗

主な適用上塗塗料

使用上の注意事項

- 1) ベースと硬化剤を指定の比率で混合し、電動ミキサー等で均一に攪拌してから使用して下さい。
- 2) 調合後、可使時間内に必ず使い切ってください。
- 3) ベースと硬化剤の混合比率が不適切であったり、他の材料を混合したり、攪拌が不十分であった場合及び可使時間を超過して使用した場合には、低汚染性能得られないので厳守してください。
- 4) 過希釈の場合、ハジキ、光沢低下等を生じる場合がありますので、所定の比率を厳守し、希釈しすぎないようにしてください。
- 5) 塗装後1～2日は塗膜表面に若干の粘着感が残りますが、塗り重ね性及び塗膜性能には支障ありません。
- 6) モルタル・コンクリート素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製(H-2))または5%以下(ケット科学社製HI-500シリーズ;コンクリートレンジ)まで乾燥させた後、適切な下塗りを塗装後に本品を塗装して下さい。
- 7) 気温が5℃以下のとき、また塗装後2時間以内(23℃)に降雨が予想される場合塗装を避けて下さい。
- 8) 高温(40℃)及び低温(-5℃以下)での保存は避けて下さい。
また硬化剤は低温で長期間保存すると白濁することがありますが、加温すると均透明に戻ります。
- 9) 塗装用具等の洗浄の際、水で落ちにくい場合はラッカーシンナー等を用いて取り除いてください。
- 10) 換気の良い場所で取扱い、都度密栓して下さい。
- 11) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。